

1 文化の力による日本の地方創生，文化交流を通じた 世界平和への貢献に向けた，文化庁の京都移転の推進

(内閣官房，文化庁)

文化庁の京都への全面的な移転に当たり，オール京都で責任を果たすとともに，国や全国の自治体等との連携の下，日本伝統の文化や生き方・暮らし方が息づく京都の特性や長年の蓄積を土台に，文化の力による日本の地方創生を推進し，また，文化交流を通じて世界平和に貢献を果たすため，次のとおり求めます。

提案・要望事項

市・府共同提案

- (1) 文化庁の全面的な移転の着実な推進，及び文化関係独立行政法人の京都移転の実現
- (2) 文化と産業や観光等との連携，生活文化（衣食住）や地域コミュニティの振興等，文化庁における新たな政策ニーズへの対応を含めた，文化行政の広がりと深化
- (3) 「地方創生は待ったなし」，先行的取組の実施，サテライト機能の充実
 - ・ 文化を通じた全国の地場・伝統産業の振興など地方創生を進めるモデル事業の先行的な実施
 - ・ 文化活動の現場を文化庁のサテライト機能を果たす場（民間文化団体や芸術家の交流・連携を創出する場等）として活用

日本の地方創生, 世界平和への貢献に向けた文化庁の京都移転の推進

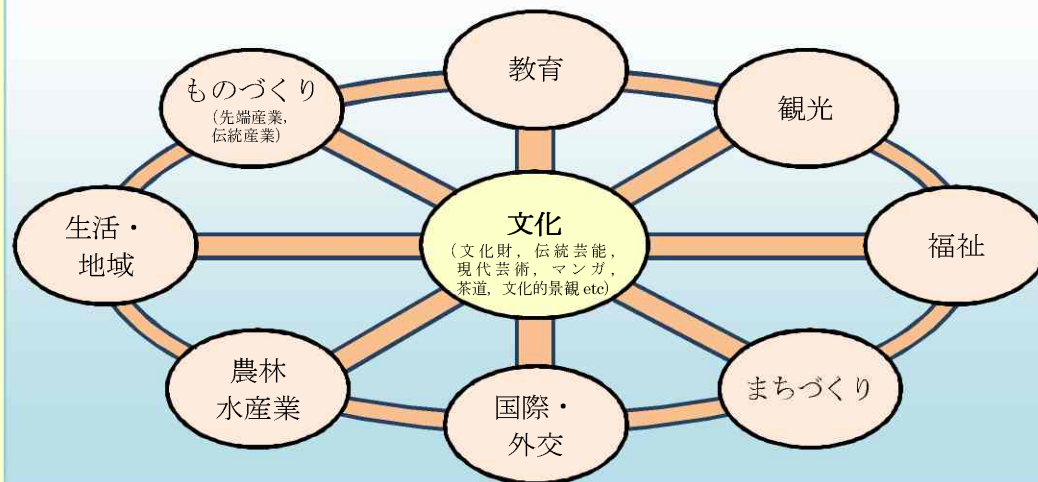
課題① 文化庁の全面的な移転の推進等

- ・ 地方の多様な文化への誇りの確保とその活用による地方創生の推進
 - ・ 文化行政の企画立案の更なる強化や国際発信力の向上
- ⇒ 文化庁の京都移転を日本全体にとって実りのあるものにしていく必要

課題② 移転に向けた先行的な取組の実施

- ・ 担い手の減少等による全国の伝統産業・地場産業等の危機的状況
 - ・ 文化庁の京都移転の意義について国民、自治体等への理解の促進
- ⇒ 「地方創生は待ったなし」
文化庁の移転に先行して具体的な取組を積み重ねる必要

あらゆる施策を文化と融合・連携させ、
文化行政の広がりと深化を図る



活用

京都の特性や蓄積の例

○ 観光

世界遺産・二条城を活用した結婚式や国際会議等の文化財の利活用



○ まちづくり

借景を保存するための景観規制の強化等, 文化をいかしたまちづくり



○ 国際・外交

世界歴史都市連盟などの絆をいかした国内外都市とのつながり



移転に向けた取組の一層の推進のための提案

提案①

- ・ 文化庁の全面的な移転の着実な推進
- ・ 文化関係独立行政法人の京都移転の実現
(独) 国立文化財機構, (独) 国立美術館, (独) 日本芸術文化振興会

提案②

- ・ 文化と産業や観光等との連携, 生活文化(衣食住)や地域コミュニティの振興等, 文化庁における新たな政策ニーズへの対応を含めた, 文化行政の広がりと深化

提案③

- ・ 近畿をはじめとした全国の自治体, 経済界, 大学等と連携しながら, 日本の文化を振興し, 全国の地場・伝統産業の振興など, 文化を通じて日本の地方創生を進めるモデル事業を実施
- ・ 二条城等の文化財や, 京都芸術センター等の文化活動の現場を, 幅広い民間の文化団体や芸術家が集い, 交流する文化庁のサテライト機能を果たす場として活用し, 新たな文化行政の裾野を拡大